

地域活性化研究会 ～『地域の食品事業者の活性化のために』～

1 | 本研究会の目的: 地域の食品事業者の行動の”見える化”を通じた地域活性化研究

本研究会はFCPの基本的な考え方にに基づき、「協働の着眼点(第1版)」を活用した地域の食品事業者の取組の”見える化”の推進と、それを通じた地域経済の活性化について研究します。

(1) ”見える化”をめぐる地域の食品産業の課題を洗い出す

地域の食品事業者は地域経済の重要な構成主体だが、「食の信頼性向上に対する意識や具体的な行動の水準が事業者ごとにマチマチで良く分からない」、「ビジネスの相手先としてのリスクが測れない」と言われます。本研究会では”見える化”をめぐる地域の食品産業の課題を洗い出し、ビジネスチャンスの拡大にあたっての”見える化”の重要性、そのことによるメリットを明らかにしていきます。

(2) 地域発の「協働の着眼点」活用方策の検討、提言をしていく

地域経済の活性化には地域の食品事業者のビジネス活性化が必要です。地域の食品事業者の行動を”見える化”することで、購買、販路開拓の促進、資金調達環境の改善など、「協働の着眼点」を活用した地域の食品事業者の活性化事業モデルの検討を行うことを目的とします。

ex. ・食品事業者の”見える化”を巡る課題とその解決に向けたアイデア出し

- ・地域のステークホルダーが連携して取り組むビジネスシーズの発掘
- ・頑張る食品事業者にメリットをもたらす具体的な事業モデルの検討(「販路開拓・マッチングイベント」、「資金調達」、「地域ブランドのマネジメント力向上」、「地域の食品事業者のセルフアセスメント」など)

2 | 本研究会の流れ

(1) 研究会への参加が望まれる主体

- ・地域の食品事業者
- ・地域金融機関(地方銀行等)
- ・地域の大学・研究機関
- ・地方公共団体(県・公的産業支援機関等)

(2) 研究会の進め方

研究会は、ゲストスピーカーによる講義と参加者からの現場レポート、メンバーによるグループワークの実施などを想定しています。

第1回 11月下旬

「協働の着眼点」(案)に関する情報共有
研究会の目的と進め方についての意見交換
”見える化”をめぐる地域の食品産業の課題の洗い出し(1) 一般論として

第3回 2月中旬

「協働の着眼点」を活用した地域の食品事業者の取組活性化モデルの検討

第2回 1月中旬

”見える化”をめぐる地域の食品産業の課題の洗い出し(2) 参加者からの報告
”見える化”をめぐる地域の食品産業の抱える課題解決のポイント整理(ボトルネックは何か)

第4回 3月上旬

地域の食品事業者の取組活性化モデルの具体化にあたっての課題の整理
「協働の着眼点」を活用した地域の食品事業者の取組活性化モデルの提言

3 | 本研究会のスケジュール

日程	2008年11月27日(木)	2008年1月中旬(予定)	2009年2月中旬(予定)	2009年3月上旬(予定)
内容	第1回研究会	第2回研究会	第3回研究会	第4回研究会
	「協働の着眼点」(案)に関する情報共有 研究会の目的と進め方についての意見交換 ”見える化”をめぐる地域の食品産業の課題の洗い出し(1) 一般論として	”見える化”をめぐる地域の食品産業の課題の洗い出し(2) 参加者からの報告 ”見える化”をめぐる地域の食品産業の抱える課題解決のポイント整理(ボトルネックは何か)	「協働の着眼点」を活用した地域の食品事業者の取組活性化モデル等の検討	地域の食品事業者の取組活性化モデルの具体化にあたっての課題の整理 「協働の着眼点」を活用した地域の食品事業者の取組活性化モデルの提言